*DOVA TRAVEL EXPRESS*

202１　７月号

発行元　株式会社DOVA TRAVEL　　責任者　土橋 泰行

愛知県名古屋市西区名駅2-25-10 TEL （０５２）５７１－３０５６　FAX （０５２）５７１－３０１９

世界中の感染が拡大している中、日本もなかなかうまく封じ込めることが出来ず、緊急事態宣言、まん延防止が続いております。海外旅行については12月末まで団体は難しいと思われます。**現在日本入国時の14日間の隔離が解除できない中、ワクチンパスポートの申請、認定をして各国共通の陰性証明書等で相互行き来を可能にする方法を進めようと調整が始まっています。コロナワクチンの接種が秋までに何とか終わるようにしたいと頑張っています。**国内旅行については、GO　TO関係なく、お一人様、ご家族様、少人数様のグループでコロナ対策を徹底していただければ実施していく事が可能だと思われます。団体については随時対応させて頂きたいと考えています。企業様の主体の場合はワクチン接種が基本になってくると思われます。事前の抗体検査、抗原PCR・検査による確認で実施も可能です。（手配段取りいたします）

旅行に行くからコロナが拡大するというのは、間違いです。お一人様、ご家族様の旅行であれば何も問題なくいくことが可能です。マスクを二重にすること、距離を2メートル保つこと、手洗い消毒をきちんとすることを守れば何とか生活を維持していく事ができると思います。

しばらくは、国内旅行をして頂き、少人数での移動、もしくはPCR検査、抗体検査を行ったうえで旅行に行っていただく形になると思います。今後、国内の宿泊施設、飲食施設にはオゾン発生の空気清浄機、消毒の徹底、施設内で三密を避けるなどして安全に過ごせるような旅行提案をして参ります。

**※しかしながら、２０２２年度春からはワクチン接種を条件に各国の受け入れが緩和され、海外旅行も可能になると考えられます。周年企画、インセンティブ企画などお考えのお客様はお申し出ください。私もご提案をさせて頂きます。もしかしたら1月くらいから14日隔離が外れる可能性があります。（わかり次第ご案内します）**

今は日本からの渡航者に対して入国を制限している国は９０か国、入国に際して条件や行動制限をしている国は１５６か国になります。全部の国の対応というわけにはいきませんが、全国に８０か所以上の医療機関で証明書が出せるように整備が進んでいます。

**※まずは現地事務所からの情報をご提示します。**

|  |  |
| --- | --- |
| ホノルル方面グアム方面台湾方面ベトナム方面タイ方面 | 今はアメリカ本土からのお客様だけですが、ホテルの稼働率が９０パーセント近くなっています。ワクチンの接種も進んでいます。ただ現地で失業保険が支給されるため、飲食店等で働くスタッフは逆に働かなくてもいいというおかしな現象も起きています。トランプ支持者が政治的な意図でワクチンを打たないという人も結構いるそうです。※ハワイではジョンソン製又はファイザーのワクチンが有料で打てます。※基本セーフトラベルプログラムより取得したトラベル&ヘルスフォームのQRコードの提示が必要。（出発前の72時間以内の陰性証明書、24時間以内の健康状態の登録が必要・弊社で準備、ご案内が可能です）。島内移動も陰性証明書で免除される。ハワイ島事務所　メインランドから日々多くのお客様が到着しています。現地ハ　　　　　　　　ワイでPCR検査をしないと各航空会社の飛行機に搭乗できない、または拒否されることになる上に、外務省からは現地医師のサインが必要になるため、各自の対応が厳しい状況になっています。対応できるクリニックが離島は少ないため。キラウエア国立公園は、開園しています。火山も噴火して現在動向確認中です。新規感染者は一桁です。ワクチン接種も希望者が多く対応が追い付いていませんが接種率は高くなり安全に向かっています。ホノルル事務所　ホノルルの新規感染者は、３０名前後です。ワクチン接種もはじまりました。おそらく近いうちにすべての住民に行きわたると思われます。屋外ではマスク着用はしなくてもいい状態。観光地は少しづつ開き始めており、賑わいを見せ始めています。ナイトクラブも解禁になりました。現在日本人はほとんど見かけません。秋以降の年内に何とか再開にこぎつけたいと考えている状況です。※グアムは政府施設の10日間の隔離措置が必要です。ワクチン接種を完全に受けたことを証明できる場合は、強制隔離を免除。場合によっては政府指定の施設ではなくホテル等の自主隔離になる場合がある。今は軍の演習が入っており、それなりにホテルの稼働率は高いそうです。グアム事務所　　現在は新規感染者が１０名以下で推移しています。政府観光局は、年内に再開を目指しています。レストランも７５パーセントのキャパシティで認められています。現実は損になるのでクローズして、テイクアウトに力を入れています。失業率が高いので治安の悪化が懸念されています。政権交代で失業者手当が減らされています。※アメリカではスマートフォンをはじめとするコロナプログラムがあり、入国時の手続き等がまだ緩和されはじめています。復活までにはしばらく時間がかかるのではと考えられています。中華航空　　　　名古屋は現在週２本から３本で運行されています。在留者の往来のみです。通常運航に戻るのは早くて秋以降と考えています。台北事務所　　　現地の旅行関係者の間では、従来の形になるには２年くらいかかるのではと考えています。入国の規制も厳しく、中国との緊張状態も続いているので、観光の再開は秋以降であっても、通常に戻るまでは、時間がかかるとみています。今はほとんどの飲食店が閉まっています。ベトナム航空　　９月まで運休予定、９月も日本路線は全便運休と思われます。運行をさせるのはまず東京からとなり、名古屋はまだまだ先になると考えています。名古屋のオフィスは閉鎖しています。ハノイ事務所　　１月末にイギリス変異株が見つかり、市中感染が広まっており、ハロン湾のあるクアンニン省及び近隣の省は隔離措置が取られています。とにかく接触者を迅速に隔離することで収束させる動きに政府は重点を置いています。秋から観光客を受け入れる努力をしています。今はフーコックのみ（離島リゾート）のみ観光客を受け入れています。（プーケット同様サンドボックス作戦）タイ航空　　　　今日本でいう民事再生法手続きで裁判所の管理下にあるので、名古屋路線の再開がいつになるか等は現時点では未定。機材の売却やリース解約もあり、保有機材が少なくなっている。東京、関西は週３便で運行している。IT割引運賃は未定。バンコク事務所　バンコクの隣県で数百人規模のクラスターが起こっています。日本大使館の職員も数名かかる事態になり緊張状態が続いています。全土のレストラン、居酒屋でアルコール提供が禁止されています。カラオケや夜のお店は営業禁止です。夜間外出禁止令、半ロックダウン状態が秋、または本年度内続くとも思われます。ビジネス目的の方は、現地で１４日間の隔離政策がとられています。※ワクチンを接種した人は隔離措置を外す方向で調整しています。アセアン関係諸国はワクチンパスポートで隔離検疫を無くして、関係諸国間を移動できるようにする提案もされています。プーケットは一部観光客の受け入れが始まりましたが、隔離も一部不要になっています。２０２１年度中に１０００万人の外国人を受け入れたいという計画を立てています。（例年は４０００万　通常時の約４分の１程度）エールフランス　東京、関西で週３便運航中。９月以降もこのまま現状維持と思航空　　　　　　われる。フランスの感染者もなかなか減らないので、日本人の入国は当分難しいと考えられる。シンガポール　　名古屋便は週３便で運行中。シンガポールが目的地ではなく、航空　　　　　　オセアニア、東南アジアの在留者の往来のために運行しているのが実情。当分はこのまま現状維持と思われる。※日本はハイリスク国の為、入国は難しいと思われる。フィリピン航空　現在週１便から２便で調整しながら運行。在留のかたのみ。　　　　　　　　観光客は搭乗させていない。しばらくはこのままの状態と思われる。 |

**※海外の渡航についてはまだまだ厳しい状況が続きます。各航空会社ともPCR陰性証明書、ワクチン接種を条件の登場になる可能性を示唆しています。ワクチンパスポートも検討段階で詳細なことはまだ来ていません。**

**各空港ではPCR検査センターが設置され、当日に検査で陰性が条件になる可能性もあります。**

**その場合は通常より早く来ていただき、搭乗４時間前で受けて頂き、陰性者が手続きになるという流れも検討されています。**

**PCR検査、抗体、抗原検査など行う場合でも、悪徳業者も見受けられます。キッド販売などは十分ご注意ください。**

**今弊社ではお一人様もしくはご家族様安心プランも作成中です。オゾン空気清浄機も宿泊ホテルでご利用いただき、睡眠、入浴指導でストレスの軽減の仕方などをご案内するプランです。ダイエットインストラクターであり、温泉入浴指導員である私が通常と違ったご旅行を御案内いたします。（近日ご案内予定）**